おおさき 広報

PUBLIC RELATIONS

2008 No.27 6
平成20年6月1日発行
【毎月1日発行】

おおさき探訪
vol.27 鳴子温泉地域
鳴子放牧場

CONTENTS

02 特集 備える
～宮城県沖地震から30年、防災対策は万全ですか？～
06 疑問にお答えします 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）
08 おおさきインフォ＆ニュース
■宮城大学移動開放講座■イベント情報ほか
12 興味津々 歴史の道 陸奥上街道とおかっぱ様
13 情熱大崎 画家 小野寺 榮さん
14 日曜日市民課窓口業務・特設市民相談、食育通信
15 年間所得変動に伴う住民税減額措置、まちかどDCニュース
16 今月のお知らせ
26 育児相談、乳幼児健診
27 救急当番医

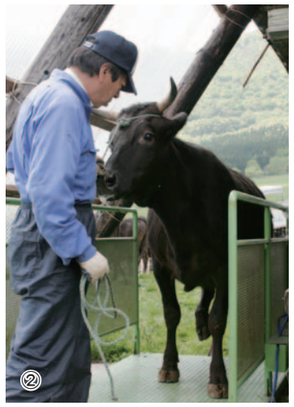
表紙の写真・早く牧場で遊びたいよ～（鳴子放牧場の開牧日）

発行／大崎市
編集／市政情報課

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号
TEL0229-23-5091 FAX0229-24-9595
HP http://www.city.osaki.miyagi.jp/
E-mail shisei@city.osaki.miyagi.jp

おおさき探訪
vol.27 鳴子温泉地域
鳴子放牧場

のどかな風景にいやされよう



①禿（かむろ）岳のすそ野に広がる一面の緑　②牛の体重測定。500kgを超す大きな牛も　③検査が終わると放牧場に運ばれます　④おなかがすいたのか、夢中で牧草を食べていました

鳴子温泉地域鬼首地区にある「鳴子放牧場」では、五月から十一月まで、たくさんの牛たちが牧草地で気持ちよさそうに過ごしています。

ここに放牧されているのは、畜産農家から受け入れた肉用雌牛です。放牧前には、体重測定や伝染病などの検査をし、それが終わると順番に放牧場へ運ばれます。広々とした草原に放たれると開放感からか、いつもはのんびりとした牛たちが、うれしそうに元気よく走り出します。

放牧が始まる五月には毎年六十頭あまりが集まり、それから除々に増え、一番多い時期には百七十頭ほどになります。

豊かな自然の中ですくすく育った牛たちは、十一月に畜産農家の元へと帰っていきます。秋までに、百キロ近く体重が増えている牛もいるそうです。

大崎市の最高峰「禿（かむろ）岳（標高一二六二メートル）」とすそ野に広がる牧歌的な風景は、アルプスの高原を思わせる異国的な雰囲気さえ感じられます。

天気がよい日は、ドライブがてら一度足を運んでみてはいかがでしょう。

PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキと再生紙を使用しています